

香川クラブ報



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

お知らせ

忘年会

忘年会を次の通り行いますので多数の参加をお待ち致しております。

日 時 12月30日 午後6時30分より

場 所 高松市瓦町二丁目

とんかつ 赤松 (スリーM 向側)

会 費 4,000円 くらい

なお、出席人員をは握いたしたいので出席される方は JA5 CM、JA5 IQP、JA5 KWF 又は役員に25日までにお知らせください。

“秋のフィールド ミーティング”おわる

J A 5 K W F 清川 隆美

前号でご案内しました「秋のフィールド ミーティング」は参加 10 局 18 名が初秋の大窟寺へ移動した。

11月4日9時30分 あさのドライブインを出発。

かっては、白装束に笈を背負い、胸に板挟み、サンヤ袋をかけ、スゲ笠をかぶり、金剛杖と珠数を手にして大師と同行二人、大師に導かれての人生修行ということを念頭において、敬虔な気持で相当の日数をかけて巡拝されたであろうが……。

近頃は道路の改善とモーターリゼーションの発達により、鈴を鳴らしながらのお遍路さんを見かけることはめったになくなった。

片手にハンドル、片手にはマイクを握り「O Q、 O Q ……」と 10 台の車が鈴の音ならぬクラクションを響かせながらの靈場めぐりに御仏の加護があるはずがなく、寺に着くと間もなく冷い雨が降りはじめやがてその雨が次第に大粒の雨に変ってくる。

それは遊山見物に訪れた無信仰者に対する御仏の涙であったのかも知れぬ。一行の内にも信仰心の深い方もおられ、奥の院（女体山）へ詣られた Y 局もおられたが雨というのに衣服は濡れてない。

奥の院は女性のもの（？）と知ってか知らずか Y 局に同行した O 局の衣服は濡れて片手に丸めている。汗でぬれたと当人は云っていたが……。

目當の靈場名物「打込みうどん」をやりながら、寺に来る途中見つけた塩江の「もみじ祭」にも顔をだすことに話が決る。

温泉郷の婦人会が各種の売店コーナーを設けている。雨のためか人影はまばらだ。雨にぬれながらのモチつきが始まる。出来上りのモチの大きさは不揃であるが、忘れかけていた昔を想い出させるに十分な温い味があった。

屋島寺の思い出 №3

J A S R Y G

翌日の夕方、灌仏会の跡片づけも終って、お手伝いに来ている檀家の人達と一緒に夕食になりました。和尚さんが、昨夜金長狸から見せてもらった源平合戦や、金長狸との狸仕合の話をしました。檀家の人達は、「和尚さん、お話が上手になりましたなあ。」と半ばひやかし気味です。「いや、これは作り話でなく、ほんとにあった話ですよ。」和尚さんは、むきになっていいます。しまいには、檀家の人達は、げらげらと笑い出して「和尚さん、それは、夢の中の話か、始めから終りまで狸に化かされたんですよ。」と誰一人信じてくれません。でも、和尚さんには、夢の中の事とは思えませんし、また源平合戦だけは、太三郎狸が化けたにしても、太三郎狸と会った事から、金長狸との狸仕合まで全部、化かされたとは、どうしても思えません。もう一度、太三郎狸に会えないものかなあと考えていました。でも、太三郎狸は灌仏会の晩以来現れません。

灌仏会から20日もたった頃、近所の家に法要に招かれて行きました。和尚さんは、その家でも「太三郎狸に会ったことを話し、もう一度、太三郎狸に会いたいと思っていることなどを話しました。すると、その家のお年寄りが、「和尚さんも、太三郎狸に会いましたか。あの太三郎狸供まだ生きとつたんですね。あの狸は、屋島寺の住職さんが、代替りの時には必ず、そしてその時にだけ、現れて、新住職さんに、源平合戦の模様をお見せする習慣になっているようです。前の住職さんも、住職になった晩に一度だけ会ったようです。」「住職さん、新築された本堂の右うしろに小さな祠があるでしょうが、あれが太三郎狸の住み家ですよ。」と教えてくれました。

和尚さんが寺に帰ってから、本堂のうしろを見ますと、確かに小さな祠があって、今にも壊れそうです。

「そこで私は、お酒と赤飯をおまつりして、太三郎狸に源平合戦の御礼と、長生きをお願いしたものでした。」

「今は、本堂の右側に赤い鳥居を作りましたので、その鳥居をくぐって行くと、太三郎狸の祠の前に出ますから、後で、お参りしてやって下さい。」

和尚さんは、語り終えて冷えた茶を、一息に飲みほしました。

「和尚さん、面白いお話をありがとうございました。祠には、後でお参りさせていただくことにします。ところで、話は変りますが、床の間に掛っている掛け軸ですが、大変結構なのが掛っているようですね。」

「やはり、お目に止りましたか。」

「あの山水は雪舟ですわ。雪舟の作品と称せられるものは、なかなか偽物が多くて、いわゆるその道の玄人の方でもよく欺されるといわれてますが、あれは真物ですわ。文化庁に申請すれば、重要文化財にでもなるんでしょうが、後がうるさくなりますんでね、そのままにしとります。あの墨の濃淡、枯れ工合、眺めれば眺める程、いいもんですわ。」

「そうですね、筆の勢と言いますか、墨のかすれ工合といいますか、悟を開いた人の作品は、風格があって、それが作品の上にどことなくじみ出していますね。」

和尚さんとお父さんの邦彦氏は、床の間の掛け軸の前に行って、一幅の墨絵について、話を始めたが、二人とも雪舟の作品について、造詣が深いと見えて、話がはずみ、なかなかに終りそうにない。

秀夫君は、雪舟について知らない訳でないが、掛け軸の墨の色の話よりも自分で試作した1.2ギガの無線機のテストの方がはるかに面白い。そこで、秀夫君は、熱心に話込んでいる和尚さんと父にことわって客間を後にしました。

なるほど、和尚さんの話のとおり本堂の右側に赤い鳥居がありました。居は一つでなく10も20もの赤い鳥居が続いていました。30メートル位歩くと、小さな祠の前に出ました。秀夫君は、「ははーんこれが太三郎狸の住み家だな。でも、今の世の中に狸が人を化かすなんて、あれは、きっと、和尚さんが寝ぼけていたに違いない。」「第一、狸が九百年も生き続けるわけがない。」そう思いながらも祠にお参りをしていました。祠は石づくりで相当に古いものらしく、あちらこちらが欠けていたりします。祠の前には土地の人がお参りしたのか、その前にカビの生えたお餅ちが三つ、ちょこんとおかれていましたし、お賽銭やお米が散らばっています。祠の後には一きわ高い松の木が一本、あたりを見おろすように生えています。

秀夫君は松の木を見上げて、これ、これ、と思いました。無線機のテストには高い場所が一番いいのです。2.3ギガヘルツの電波は殆んど光りに近い

伝わり方をするので、少しでも高い所がいいのです。それと、アンテナの長さが13センチメートルですむので携帯に便利なのです。試作機は、最近の超S.I.Iの進歩で、腕時計大の大きさに納まりました。秀夫君のハンダ付けの技術も一役買っています。

秀夫君は試作機をポケットに入れて、松の木を登り始めました。木が太いので、なかなか昇れません。でも、なんとか頑張って、上方に上ってきました。腰かけるのに、手ごろな枝があったので、そこまで上ろうと思って昇っていると、ちょうど、枝のはえぎわに大きな穴があいていました。それこそ、人間1人がはいれそうな大きな穴で、ずっと下まで続いているのか、暗くて見えません。秀夫君は、その穴に足をすべらしそうになり、ひやっとしましたが、何とか、枝につかまって思いどおりのところに腰をおろしました。

「CQ、CQ、こちらはJB3RYG/5、JB3RYG/5、どなたかお聞きのアマチュア局がありましたら応答願います。」

「CQ、CQ、こちらはJB3RYG/5、こちらはJB3RYG/5」

秀夫君は、さかんに呼び出しています。

「JB3RYG、こちらはJC4TKZ。入感ありますか。」

「JC4TKZ、こちらはJB3RYG。メリット5にて入感しております。当局の信号はいかがですか、只今屋島山上、松の木の上からオンエヤしております。ポータブル5です。当局自作のリグ（無線機）なので、電波の飛び工合を心配しております。折り返し、信号の報告をお願いします。」

「JB3RYG/5、こちらJC4TKZ。こちらにもメリット5にて入感しております。信号強度9で、ノイズもなく、ばっちり入感しておりますから御安心下さい。当局は、岡山市内の後楽園第5アパート17階の部屋からオンエアしております。」「いつでも受信できるように、スイッチ・オンしておきましたら貴局の信号が強力に飛び込んできたのでびっくりしております。この周波数帯は、リグを持っている人が少ないと、電波の飛びが光りに近い飛び方をするので、話しあい手が少くていけません。・・・145メガのように、リグを持っている人が多いといいんですがね、自作するには相当高度な技術がりますし、メーカー製のリグを買うのは高いし、なかなかうまくいきませんね。私は、昨年の暮のボーナスをつぎ込んで買いましたよ。リグ自体が小さく、アンテナの長さが10センチあまりですみますので、携帯

に便利ですよ。電波は、光のように、どこまでもまっすぐ飛んでくれるので、文句はないのですが、もう少し、リグが安くなつて、たくさん的人がこの周波数帯に顔を出してくれればいいのですがね。」

J C 4 T K Z の話は、専門的になってきて、いつまでも続きそうです。秀夫君は、自作のリグの調子をもっと調べたいので、

「J C 4 T K Z 、こちらは J B 3 R Y G 。只今リグのテスト中なので、テストが終つてからロング Q S O をお願ひします。」とお別れして、

「J B 3 Y Z P 、J B 3 Y Z P 、こちらは J B 3 R Y G / 5 聞えましたら応答願います。」

「J B 3 Y Z P 、聞えますか、こちらは J B 3 R Y G 。」と大阪の母校の無線クラブを何度も、何度も呼びますが仲々応答がありません。自分の技術?と電波の性質から、電波が飛んでいるに違いないと思っていても、実際に交信してみないことには、一寸心配です。

「J B 3 Y Z P 、J B 3 Y Z P 、こちらは J B 3 R Y G / 5 、J B 3 R Y G / 5 、入感ありましたら応答願います。」秀夫君は、いくら呼んでも、相手局からの応答がないので、心配になってきました。彼の位置が、ビルの蔭になつてないのでないかなと思って考へていますと、何と、秀夫君の大坂方向には、すぐ前に松の大きな枝があるではありませんか。あわてん坊の秀夫君は、リグの操作に夢中になつて、電波の飛ぶ方向と松の枝を結びつけて考へることをうっかりしていたようです。

「これはいけない。もう一つ上の枝まであがるとするか。」

秀夫君は、リグをポケットにしまつて、腰かけていた枝から立ち上り、また松の木をのぼり始めました。枝のはえぎわの大きな穴をまたいで、手がかりがつかめたので、次は足をかけて、よいしょとふんばろうとしたのですが、いけません。ふんばるはずの足が、つるりとすべったのです。あつと思ったがもう遅い。手の方も一しょにすべってしまいました。

「落ちる!」(リグをこわしたら困る。)

「落ちるう!」

落ちる途中で、松の木の穴の中に頭と尻尾に白い毛のある狸を、ほんの一瞬見たような気がしたのですが、それも東の間のことで、秀夫君は、ドスンと松の下の根もとに落っこつてしましました。

「ウーン」と一声、秀夫君は気絶してしまいました。それから、どれ位いの時間が経ったのでしょうか。

秀夫君には、太三郎狸がやってきて、尻尾で体や顔のはこりを払ってくれているような気がしました。何度も何度も、顔の上を毛で払うので、秀夫君も気がついて、顔の上の毛を払いのけると、何とそこには狸ではなく、お父さんと和尚さんの心配そうな顔が二つ並んでいました。秀夫君の帰りが遅いので心配して見に来たという次第である。

高松からの坂への帰り道、

「お父さん、僕が松の木から落ちて気絶した時、太三郎狸が尻尾で、何度も何度も埃を払ってくれたんだがなー。あの尻尾で顔をなでてくれないと、僕は、もっと気絶していたかも知れないよ。」

「秀夫、あれは、和尚さんが持っていた払子（ほっす）だよ。」

「でも、松の木の穴の中に、太三郎狸を見たような気がしたんだがなー。」

秀夫君は、すっかり狸の長生きを信じたようです。お父さんは、苦笑いです。

2.3 ギガヘルツのリグは、こわれてなかったし、岡山、高松間の交信には成功を納めだし、太三郎狸とも知合いになれた？りで、秀夫君は満足して高松を離れて行きました。

おわり

de J A S R Y G (石川 茂男)

高松市屋島在住

編集部から お詫びと訂正

クラブ報№183(5.4.8.15発行)の6頁に次のような誤りがありましので筆者ならびにクラブ員各位へお詫びして訂正します。

上から3行目 17字目・上から5行目 8字目
下から2行目 25字目・上から7行目 7字目 } 「秀」→「禿」
 下から6行目 26字目 }

郵便局だより

○ 年賀状の差出し準備を

今年も年賀状を準備する時期になりました。今年お世話になった方や、友人、知人などへぜひ年賀状を出しましょう。

年末もおし迫ると何かと忙しくなりますので、お早めに年賀はがきをお買い求めてお求めいただき、12月15日の引受開始日には出せるよう御準備ください。

なお、準備に当たっては次の点に御留意ください。

1. 暑中見舞状、転動・転居のあいさつ状、新住居表示実施の通知状などをにより住所録を整理しましょう。

なお、住所はアパート名、棟番号、室番号や「〇〇様方」又は「〇〇ビル」などの肩書きまで詳しく、また、住所に郵便番号が記載されていない場合は、郵便番号簿などで確かめて記入しておきましょう。

2. 年賀状を印刷したり、版画にしたりする方は、早目に手配しましょう。その際差出入の住所や郵便番号をお忘れなく御記載ください。

3. 新しく住居表示制度が実施された地域又は近く実施が予定される地域にお住いの方は、年賀状にその旨を付記してください。

○ 転居届は郵便局にも

転居されるときは、郵便局にも転居届をお出しください。転居届の用紙は、郵便局のほか市町村役場の窓口にも備えてありますが、郵便はがきに旧住所、新住所、御家族のお名前、転居年月日を書いて、お近くのポストに投かんしていただいても結構です。出された転居届により向う1年間、旧住所への郵便物を新住所へ転送します。この場合、書留とした郵便物や小包は転送料が必要となりますから、友人や知人など主な通信先へはなるべく早く連絡しておきましょう。

(四国郵政局報広報資料より)

ハムライフ20年間のまとめ

JASMG 稲毛 章

当局は昭和34年4月に香川県の片田舎で開局し、今年の春でちょうど満20周年になりました。

これに合わせて「全日本一万局よみうりカード」も発賞でき、4月22日には開局20周年記念パーティーをローカル各局参集のもとに盛大に開催することができました。今までアマチュア無線を楽しむことができたのも、XYLやローカル各局のご協力のたまものと深く感謝いたします。

当局は開局後、DXに興味をもち、ほとんどそちらに力を入れてきました関係で、国内QSOはあまりやってからず、これまで2年内にで多数の国内局とQSOしました。

また、ハムを楽しめる条件の一つに仕事との関係が大きくなっていたため、それに左右されるのはどうなたも同じことと思います。当局もこのことがデータによく現われています。

ところで、この20年間の国内QSO関係について、徹底的にまとめてみましたので、各局の今後の参考になればと思ふここに発表させていただきます。

ここにあげた数字は、すべてコンフルームしたQSLとともにいたものです。QSL回収率はデータにあるように、思ったより良くなっています。昔よりは近頃の方があつめようです。

交信とQSLカードの整理方法については、JARL NEWS 54年8~10月号に発表させていただきましたので参考にして下さい。(個人的によくわざと知りたい方はお便り下さい。プロダクムも提供します。)

※※ フリ ハツ ※※	
フリ	*ヨク
JA1	546
JH1	350
JR1	170
JE1	82
JF1	123
JG1	152
JI1	192
JJ1	222
JK1	193
JL1	1
JD1	10
JA2	448
JH2	120
JR2	175
JE2	230
JF2	22
JA3	695
JH3	149
JR3	166
JE3	187
JF3	237

※※ ケン ハツ ※※	
ケン	*キヨク*
1 ホツカイ	1437
2 アオモリ	152
3 イワテ	165
4 アキタ	160
5 ヤマガタ	119
6 ミヤギ	200
7 フクシマ	158
8 ニイガタ	232
9 ナガノ	163
10 トウキョ	614
11 カナガワ	396
12 チハ	291
13 サイタマ	308
14 イバラキ	160
15 トチギ	105
16 クラシマ	118
17 ヤマナシ	45
18 シスオカ	310
19 キーフ	118
20 アイチ	387
21 ミエ	173
22 キョウト	197
23 シガ	74
24 ナラ	109
25 オオサカ	524
26 ワカヤマ	92
27 ヒヨウコ	421
28 トヤマ	122
29 フクイ	101
30 イシカワ	117
31 オカヤマ	287
32 シマネ	70
33 ヤマグチ	169
34 トツトリ	60
35 ヒロシマ	233
36 カガウ	508
37 トクシマ	111
38 エヒメ	127
39 コウチ	109
40 フクオカ	195
41 サガ	35
42 ナガサキ	82
43 クラモト	87
44 オオイタ	70
45 ミヤサキ	70
46 カコシマ	88
47 オキナワ	66
48 イトウ	132

ネット ハーツ 総計	
年	個数
1959	10
1960	133
1961	180
1962	12
1963	86
1964	67
1965	25
1966	52
1967	391
1968	703
1969	370
1970	683
1971	423
1972	159
1973	68
1974	381
1975	374
1976	1050
1977	2000
1978	2995
1979	5

リキ ハーツ 総計	
月	個数
1	781
2	614
3	814
4	971
5	816
6	1111
7	1687
8	1444
9	714
10	480
11	259
12	371

ヒ ハーツ 総計	
月	個数
1	357
2	446
3	453
4	332
5	333
6	321
7	295
8	302
9	350
10	367
11	320
12	414
13	365
14	330
15	408
16	381
17	332
18	274
19	239
20	311
21	288
22	273
23	372
24	249
25	291
26	271
27	301
28	292
29	361
30	192
31	182

** シュガツ ヘツ **	
シカツ	キヨク
0.00- 1	18
1.00- 2	16
2.00- 3	15
3.00- 4	3
4.00- 5	9
5.00- 6	52
6.00- 7	365
7.00- 8	1397
8.00- 9	1376
9.00-10	461
10.00-11	328
11.00-12	325
12.00-13	354
13.00-14	421
14.00-15	284
15.00-16	303
16.00-17	343
17.00-18	436
18.00-19	677
19.00-20	754
20.00-21	809
21.00-22	734
22.00-23	511
23.00-24	76

** シュウハスウ **	
MHZ	キヨク
1.9	229
3.5	608
7	5555
14	279
21	2465
28	125
50	370
144	436

** モード **	
モード	キヨク
CW	1798
SSR	7312
AM	798
FM	159

** シュウハスウ ヘツ **		
MHZ	モード	キヨク
1.9	CW	229
3.5	CW	187
3.5	SSR	382
3.5	AM	39
7	CW	1196
7	SSR	4063
7	AM	295
14	CW	102
14	SSR	173
14	AM	4
21	CW	81
21	SSR	2182
21	AM	201
28	CW	2
28	SSR	122
28	AM	1

50	CW	1
50	SSB	110
50	AM	258
50	FM	1
144	SSB	280
144	FM	156

** QSL ハンディリツ **		
1	83.5	
	(2041/2549)	
2	87.4	
	(995/1158)	
3	85.6	
	(1474/1769)	
4	83.1	
	(846/1017)	
5	83.8	
	(858/1016)	
6	77.5	
	(706/ 960)	
7	79.0	
	(961/1208)	
8	83.6	
	(1445/1740)	
9	81.6	
	(338/ 414)	
0	75.1	
	(402/ 534)	
ハイキン	82.0	

** QSL ハンディリツ **		
JA1	74.9	
	(546/ 729)	
JH1	78.5	
	(350/ 446)	
JR1	82.9	
	(170/ 205)	
JE1	79.6	
	(82/ 103)	
JF1	84.2	
	(123/ 146)	
JG1	80.9	
	(152/ 188)	
JI1	83.8	
	(192/ 229)	
JJ1	81.9	
	(222/ 271)	
JK1	88.1	
	(193/ 219)	
JL1	100.0	
	(1/ 1)	
JD1	83.3	
	(10/ 12)	
JA2	83.4	
	(448/ 537)	
JH2	90.9	
	(120/ 132)	
JR2	86.6	
	(175/ 202)	
JE2	87.8	
	(230/ 262)	
JF2	88.0	
	(22/ 25)	
JA3	80.2	
	(695/ 867)	
JH3	89.2	
	(149/ 167)	
JR3	90.2	
	(166/ 184)	
JE3	87.0	
	(187/ 215)	
JF3	82.0	
	(237/ 289)	
ハイキン	83.1	

1 カット		4 カット		***ツキヘツ-シユウハスウヘツ ***	
1.9	62	1.9	12	7 カット	10 カット
3.5	297	3.5	29	1.9 5	3.5 11
7	403	7	690	3.5 21	7 385
14	70	14	80	7 549	14 17
21	19	21	132	14 12	21 41
50	2	28	10	21 751	50 8
144	19	50	14	28 23	144 18
2 カット		144	4	50 228	11 カット
1.9	33	5 カット		144 98	3.5 26
3.5	84	1.9	11	8 カット	
7	472	3.5	7	3.5 41	7 194
14	5	7	360	7 768	14 7
21	8	14	18	14 8	21 6
28	1	21	379	21 359	50 3
50	4	28	14	28 17	144 23
144	7	50	16	50 30	12 カット
3 カット		144	11	144 221	1.9 70
1.9	31	6 カット		9 カット	
3.5	25	1.9	4	1.9 1	3.5 44
7	670	3.5	7	3.5 15	7 225
14	7	7	392	7 543	14 6
21	50	14	11	14 29	21 12
28	1	21	614	21 94	28 3
50	19	28	56	50 19	50 4
144	11	50	23	144 13	144 7

* エリヤベツ ---
レウハスウベツ *

(1) リツイ(4)	
1.9	49
3.5	85
7	1328
14	93
21	621
28	19
50	10
144	5
(2) リツイ(4)	
1.9	39
3.5	86
7	981
14	10
21	91
28	5
50	52
144	35

(3) リツイ(4)	
1.9	27
3.5	101
7	883
14	11
21	47
50	125
144	136
(4) リツイ(4)	
1.9	27
3.5	97
7	541
14	5
21	49
28	2
50	72
144	91
(5) リツイ(4)	
1.9	25
3.5	132
7	388
14	22
21	119
28	15
50	83
144	141

(6) リツイ(4)	
1.9	21
3.5	44
7	573
14	23
21	90
28	1
50	8
144	1
(7) リツイ(4)	
1.9	23
3.5	28
7	295
14	62
21	580
28	31
50	9
(8) リツイ(4)	
1.9	12
3.5	16
7	275
14	15
21	110
28	5
50	8
144	5

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者 JA5MO 稲毛 章

編集者 JA5EKJ 青木 俊士

〃 JA5IRP 入見 和郎

〃 JA5PZL 高畠 康男

連絡事務所 761-01 高松市高松町

清川 隆美 (JA5KWF)